

---

---

## ホットニュース(平成10年度／第1号)

---

---

～アルメックホットニュース創刊のご案内～

「あまたの人々のすなるE-mailを用ひて、いきいきとした情報の交流を  
こころみんと・・・」という趣旨で、アルメックホットニュースを発刊  
することとしました。

内容は以下を中心に考えています。

1. 都市計画・交通計画の動向とアルメックの取り組み方  
新たな都市・交通施策に対するアルメックの考え方や取り組み方の  
紹介をします。
2. 業務の紹介  
タイムリーなテーマをもつアルメックの業務を紹介します。分野は  
1.都市計画、2.交通計画、3.海外業務等です。
3. 技術開発・研究の紹介等  
とくに重点的に取り組んでいる分野での技術開発・研究状況を紹介  
します。

発行は月刊(毎月15日)の予定で、E-Mail、FAXの他、アルメックホ  
ームページ(<http://www.almec.co.jp/>)にも掲載しております。

---

---

### ●都市計画・交通計画の動向／～都市施策の潮流～

---

---

平成10年度の建設省都市局予算の概要説明をみると、中心市街地の活  
力低下など都市構造の変化に対応するために、既存のストックを活用し  
つつ「都市の再構築」に取り組むことが重点課題であり、以下を基本方  
針として都市整備を推進するとしています。

1. 中心市街地の整備
2. 快適な都市生活を支える質の高い環境づくり
3. 安全で安心できる都市づくり

「都市化社会」から「都市型社会」への変化に応じて、都市計画の潮流  
は新市街地の整備拡大から、既成市街地の再編充実に向かっています。

アルメックでは、過年度に建設省・厚生省合同で行われた「安心・安  
全まちづくり研究会」において、福祉施設の配置のあり方や防災まちづ  
くりの考え方を踏まえて中心市街地の活性化に係る報告書をまとめまし  
た。この成果は、街なか再生土地区画整理事業や街なか再生型市街地再  
開発事業等の新規制度の創設に活かされたと自負しています。今後とも、  
経済・社会の変化に伴う新たな課題を追究しながら、都市に対する高度  
な洞察力を培い業務を進めていきたいと思えます。

---

---

### ●業務の紹介／～アルメック インデックスの紹介～

---

---

都市情報計画室では、年に4回、アルメックインデックスを定期発行  
しております。社内で購読している雑誌や新聞を整理し、都市・交通関  
連で重要と思われる事項や記事のインデックスを月別・アイテム別にフ  
ァイルしたものです。雑誌は、新都市、区画整理、都市計画、産業立地、  
人と国土、道路、日経アーキテクチャなど25誌からなり、一方新聞は、

日本経済新聞など主要5紙を情報源として、社会・経済一般、国等の政策、プロジェクト、自治体施策、商業・レジャー、交通、情報、環境、住宅など、全部で18のアイテムで分類してあります。これは、日常業務の中で必要と考える関連事項をスピーディに検索できることを目的としたもので、雑誌は勿論のこと、新聞についてはスクラップして保存しています。今度の '98春の号(1～3月分)は5月中旬に発行を予定しております。

ちなみに一部社外の関係者にも配布しております。アルメックインデックスに関するお問い合わせは、都市情報計画室(Fax:03-5489-3210, E-Mail: hotnews@almec.co.jp ,担当:出ツ所、三宅)まで。

=====

●技術開発・研究の紹介／～交通現象のシミュレーション研究～

=====

交通計画部門では大規模開発(ショッピングセンター、オフィス、住宅等)に伴う交通計画・アセスメントを行なっていますが、調査結果はどうしても数字が中心となってしまいます。当然数字は必要なのですが、事業者や周辺住民等から「実際に混雑度 1.0はどんな感じ?」「交差点飽和 0.9はどういう状況?」と聞かれ、返答に困ることが多々あります。これは、交通現象が複雑な要因から構成されているため、客観的な説明が難しく、また、評価する人の感性によりその受け取り方が異なること等が原因と考えられます。

現在、業界内では、交通現象を再現して客観的に評価するツールとして、シミュレーションの研究が進められていますが、アルメックとしてもわかりやすいプレゼンテーションを研究中であり、具体的には、NETSIM(米国FHWA監修)を利用し模索しています。

アルメックホットニュース(平成10年4月15日発行)

////////////////////////////////////